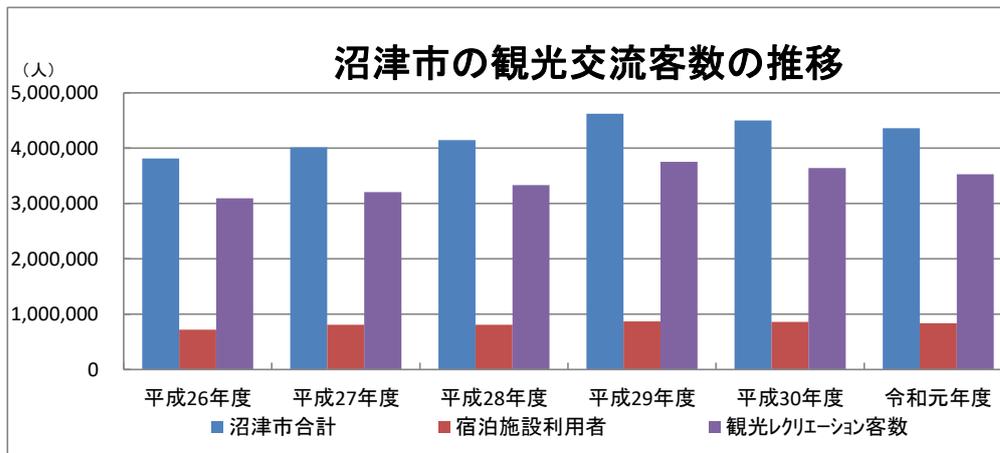


Ⅱ-4-1 観光交流客数

(単位:人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
沼津市合計	3,815,267	4,015,617	4,146,268	4,623,576	4,500,770	4,363,178
宿泊施設利用者	721,375	809,258	811,135	871,569	858,226	835,128
観光レクリエーション客数	3,093,892	3,206,359	3,335,133	3,752,007	3,642,544	3,528,050
(うち観光施設)	2,463,011	2,603,309	2,690,133	3,059,507	3,164,044	2,972,957
(うちイベント客数)	630,881	603,050	645,000	692,500	478,500	555,093
富士市	6,139,267	6,370,566	6,528,932	6,631,702	6,731,497	6,585,477
静岡市	26,265,911	24,463,711	24,892,992	24,568,492	24,704,992	23,631,790
浜松市	18,523,649	18,275,814	19,620,613	21,357,271	18,809,983	19,441,232
静岡県	147,935,450	149,341,702	152,940,889	156,482,379	153,415,578	147,163,114



資料: 令和元年度静岡県観光交流の動向(発行: 静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局 観光政策課)

調査対象観光施設 (令和元年度末現在)

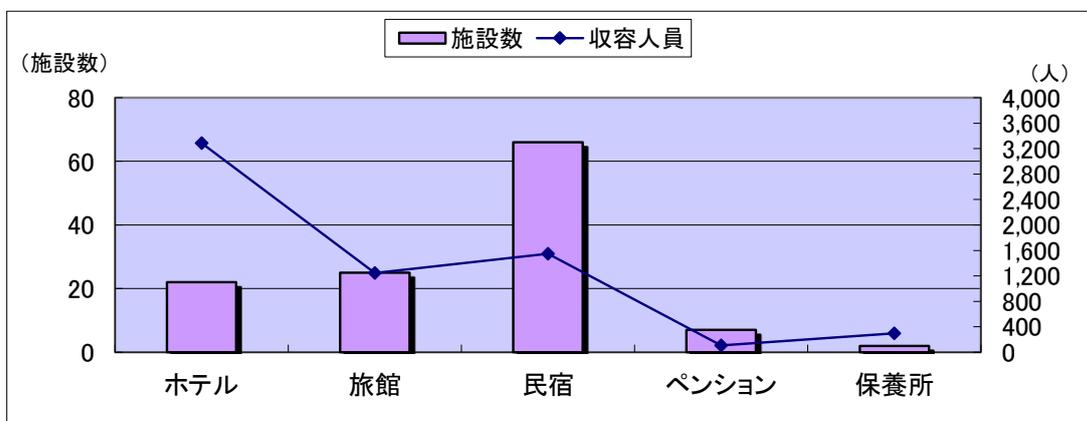
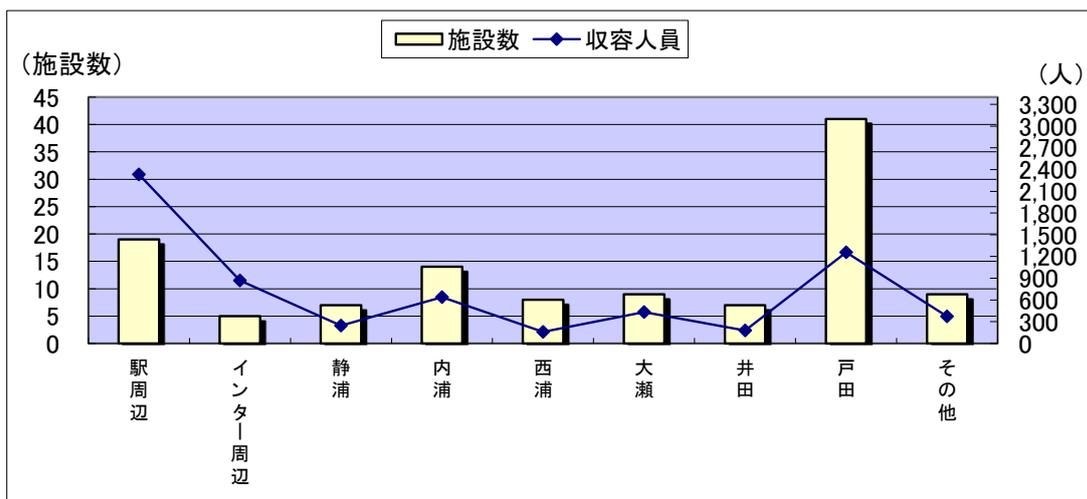
- ・伊豆三津シーパラダイス・あわしまマリンパーク
- ・沼津御用邸記念公園・木負みかん園・市内海水浴場(6か所)・市民の森、少年自然の家
- ・温泉浴場壺の湯(平成26年度閉鎖)・はかま滝オートキャンプ場・戸田造船資料博物館
- 昭和55年より・スカンジナビア(平成16年度で閉館)
- 昭和61年より・大瀬ダイビングスポット
- 昭和62年より・明治史料館・若山牧水記念館・厚生年金休暇センター(現在、ニューウェルサンピア沼津)
- 昭和63年より・長浜釣り掘りセンター(平成27年度より調査対象外)
- 平成10年より・我入道の渡し・富士ラドンセンター(平成17年度で閉館)・千本プラザ・芹沢文学館
- 平成11年より・キラメッセぬまづ(平成22年度で閉館)・市内ゴルフ場(4施設)
- 平成16年より・沼津港大型展望水門びゅうお
- 平成23年より・沼津港深海水族館(平成30年度よりみなと新鮮館へ調査対象を変更)
- 平成25年より・キラメッセぬまづ
- 平成27年より・道の駅くるら戸田、沼津内浦漁協直営 いけすや
- 平成29年より・万葉の湯、駿河の湯
- 平成30年より・みなと新鮮館

Ⅱ-4-2 エリア別宿泊施設集計

エリア	施設数	収容人員
駅周辺	19	2,332
インター周辺	5	867
静浦	7	246
内浦	14	637
西浦	8	160
大瀬	9	434
井田	7	178
戸田	41	1,258
その他	9	372
合 計	119	6,484

業 種	施設数	収容人員
ホテル	22	3,286
旅館	23	1,245
民宿	66	1,548
ペンション	6	107
保養所	2	298
合 計	119	6,484

令和2年度 沼津市観光戦略課調べ(1月末現在)



Ⅱ-4-3 主要観光施設一覧

沼津御用邸記念公園

沼津御用邸は明治26年に造営され、明治、大正、昭和の三代にわたり使用された。昭和44年に廃止され、昭和45年から沼津御用邸記念公園として一般開放されている。西附属邸は、家具や調度品などが再現されており、貴重な歴史的文化的遺産として維持・保全を図っている。また、平成11年に改修された東附属邸は、皇孫殿下の御学問所としての性格を受け継ぎ、市民や来園者の文化交流の場として使用されている。

平成28年には、旧御用邸苑地の芝生地と松林が調和していること、また駿河湾の眺望が得られ、松原越しに富士山が展望できることなど、優れた自然景観が形成されていることが評価され、国の名勝に指定された。

沼津市若山牧水記念館

千本の地をこよなく愛した若山牧水は、東京からこの地に移り住み、43歳の生涯を沼津で閉じた。全国に多々ある牧水歌碑の第1号は、沼津市千本にある歌碑で、「幾山河こえさりゆかば寂しさのはてなむ国ぞ けふも旅ゆく」の歌が刻まれている。牧水の没後六十年を経て開館したこの記念館には、生涯を歌と旅に捧げた牧水の足跡を辿る、貴重な資料が展示されている。

沼津市芹沢光治良記念館

沼津市名誉市民である作家芹沢光治良は、明治29年沼津市我入道で生まれた。

日本文壇を代表する作家として、日本ペンクラブ会長などを歴任、平成5年東京で死去。

昭和45年、「芹沢文学館」が故郷我入道に建てられ、平成21年市に寄贈され、「沼津市芹沢光治良記念館」として開館した。芹沢光治良の貴重な文学的遺品の数々を所蔵・展示している。また、我入道海岸には、光治良ゆかりの文学碑が建てられている。

沼津市庄司美術館

平成12年、沼津市庄司美術館(モンミュゼ沼津)が開館した。文学や文化の薫り高い千本に位置し、沼津市の生んだ国際的版画家山口源の作品と、前田千寸(ゆきちか)の日本色彩文化史の貴重な資料や、芸術関係の書籍および、地域で活躍する芸術家の企画展示を行っている。

沼津市歴史民俗資料館

沼津市が市制50周年を記念して建設し、昭和49年12月に開館した。御用邸記念公園の中にあり、沼津市の歴史や民俗を中心とする文化遺産が、収集、整理、保管されている。また、調査研究の成果が展示公開されており、市民の社会教育の場として活用されている。

沼津市明治史料館

郷土の偉人江原素六や、静岡徳川藩の藩校沼津兵学校を中心に、郷土の近代化の歩みを紹介する博物館。沼津市の歴史に関する史料を収集・保存・調査・研究・展示・公開し、市民の生涯学習、学校教育との関連を考慮した普及活動を積極的に行い、市民文化の向上発展に寄与する事を目的としている。

松蔭寺

松蔭寺は鎌倉時代の弘安年間(1280年頃)に開かれたと伝わる古刹で、江戸時代の慶安年間(1650年頃)に復興された。臨済宗中興の祖と仰がれる白隠禪師はこの寺で出家し、享保2年(1717)に第五世住職となった。その後多くの修行僧をこの寺で育て、各地に禅風を広めた。明和5年12月(1769)に84歳で入寂し、その墓(県指定史跡)が境内に残っている。

伊豆・三津シーパラダイス

眼前に富士を望む海獣たちの楽園で、魚類、哺乳類など、海の生物が400種近くも集められている。日本で初めてバンドウイルカやラッコ、セイウチの飼育を行った水族館として有名。イルカやアシカ、トドなどのショーのほか、幻想的なクラゲや深海生物の大型水槽、子ども向け体験コーナーなど、大人も子どもも楽しめる。

淡島

船で渡る外周2.5キロメートル、海拔137メートルの円錐形の小島で、富士山をバックにする景観は見事。島全体が自然公園になっており、水族館やカエル館、遊歩道、海上レストラン、淡島神社、イルカやペンギンなどの海獣プールなどがある。

島にある「あわしまリパーク」では、アシカやイルカのショーが見られる。

ユネスコ世界ジオパークに認定されている「伊豆半島ジオパーク」のジオサイトに指定されている。

大瀬崎

別名琵琶島とも呼ばれる、駿河湾に約1キロメートル突き出した砂嘴。

海越しに日本一の富士山を望む景色は古くから名勝の地として知られるとともに、環境省の水質調査結果において、最高ランクの「水質が特に良好な水浴場」に選定されるなど、日本有数の水のきれいなダイビングスポットとしても知られ、全国から年間約26,000人のダイバーが訪れている。

大瀬崎の先端にある神池は、海から間近の所にあるにもかかわらず、淡水を保っており、多数の鯉が群遊しているため「伊豆七不思議」の一つに数えられている。

天然記念物の大瀬崎のビャクシン樹林は、日本最北端の自然群生地。

ユネスコ世界ジオパークに認定されている「伊豆半島ジオパーク」のジオサイトに指定されている。

千本松原

狩野川河口から田子の浦にかけて広がる千本松原は、白砂青松100選にも選ばれた東海道随一の景勝地として知られる。天正年間に増誉上人が植えたものが現在に至っていると伝えられており、その数は30数万本とも言われている。松原越しに見る白雪を頂いた富士山、駿河湾に沈む真っ赤な夕日などの美しい自然は、若山牧水や井上靖など、数多くの文人墨客をこの地に引き寄せてきた歴史を持つ。

香貫山

標高193メートルの香貫山は、北に富士山を仰ぎ、眼下に駿河湾を見下ろす、正に富士・箱根・伊豆の展望台。特に桜のシーズンには2千本を超えるさまざまな品種の桜が山を覆い、絶好のハイキングスポットとなっている。

香陵台に建つ五重の塔は、第2次大戦の戦没者追悼の慰霊塔として建てられた。

沼津アルプス

香貫山、横山、徳倉山、志下山、小鷲頭山、鷲頭山、大平山と続く山の連なりは、別名沼津アルプスと呼ばれている。七山七峠を越える長いコースだが、各峠から下る山路もあり、富士山をはじめ伊豆・箱根の山並み、駿河湾の景観が楽しめる。

発端文山

標高410mの山で、伊豆の国市の葛城山と隣接している。展望台からの駿河湾と淡島と富士山の雄大な眺望は、絶好の写真撮影ポイントとして、写真愛好家によく知られている。

我入道の渡し船

地域住民の生活の足として親しまれてきた「我入道の渡し船」は、港大橋の完成と共にその役目を終え、昭和46年に廃止された。この渡し舟が、26年ぶりに、沼津市の散策コース「潮の音プロムナード」に彩りを添える新たな観光スポットとして、平成9年に復活した。ゆるやかに川面をなでる風と船を漕ぐ櫓の音、法被姿の船頭さんに情緒を感じる、懐かしい沼津の名物として、人気を集めている。また、平成14年から、狩野川河口の航路に加え、あゆみ橋までの運航も始まった。

潮の音プロムナード

千本浜公園から沼津御用邸記念公園まで、海辺に展開する約6キロメートルを、「潮の音プロムナード」と呼び、沼津市の散策コースの一つとなっている。若山牧水記念館、芹沢光治良記念館、沼津御用邸記念公園など、沼津市の歴史的、文学的施設や文学碑が数多く網羅されており、また途中に沼津港というグルメスポットを通ることも出来るため、沼津市を代表する美しい景観、松籟の中に培われた文学風土、四季折々に変化する旬の味覚を肌で感じることができる。

沼津から見た富士山八景

平成11年、沼津市内から美しく富士山が見える場所8ヶ所が「沼津から見た富士山八景」として決定された。「沼津市内で美しく富士山が見える場所」というテーマで市が募集を行い、その結果集まった46ヶ所のビューポイントの写真やスケッチを、市庁舎などの施設や夏祭りなどのイベント会場に展示。投票を経て上位8ヶ所に選ばれたのが、「大瀬」「千本」「浮島ヶ原」「狩野川(港大橋)」「香貫山」「志下海岸」「内浦長浜」「西浦木負」の8ヶ所である。

沼津港飲食店街

沼津魚市場に隣接する、約60店舗の飲食店、鮮魚店、土産屋などから成る飲食店街。

2009年にオープンした沼津港マーケットモール沼津みなと新鮮館や港83番地でも特産のひものをはじめ、沼津ならではの新鮮な海の幸が堪能できる。

沼津港深海水族館・シーラカンスミュージアム

水深200mよりも深い位置に生息する深海生物をメインテーマとした世界初の水族館。

最大の目玉は、生きた化石と言われるシーラカンスであり、世界でも類を見ない希少は2体の冷凍個体と3体の展示されている。

ぐるめ街道

東名高速道路沼津I.Cは伊豆半島への玄関口の一つとしての役割を果たしている。I.Cから約3キロメートルにわたって種々の飲食店が立ち並び、大型バスが立ち寄れる飲食店や土産店などもある。

奥するが湾日曜日

毎週日曜日、内浦漁港で開催される日曜日。地元の新鮮な農水産物が市に並び、近郷から多くの人が集まる。

らららサンビーチ

美しい自然環境に恵まれた西浦平沢の海岸侵食を防ぐため、防波用の突堤を築いてその内側に貝殻やサンゴを含んだきれいな白い砂を入れた人工のビーチ。自然岩を利用した磯浜が平成25年7月にオープンし、年間を通して楽しめるようになった。

大瀬崎同様、環境省の水質調査結果において、最高ランクの「水質が特に良好な水浴場」に選定さ

沼津港大型展望水門「びゅうお」

沼津港の内港と外港を結ぶ航路から進入する津波の被害から守るために作られた水門の高さを生かして併設された展望施設。地上約30mから、愛鷹山、富士山、南アルプス、箱根連山、沼津アルプス、大瀬崎など、東西南北360度の絶景を楽しむ。また、日没後はライトアップされ、ロマンチックなひと時を楽しむことができる。

泊まれる公園 INN THE PARK

昭和48年の開所以来、多くの市民が利用した「少年自然の家」を現代的にリノベーションし、新たに公園一体型複合宿泊施設として平成29年にオープンした。20㎡以上の個室にダブルベッド2台を設け、一棟貸し切りの利用となる宿泊棟が4棟、森の中に設置したドームテントが3張、森の中に浮かぶ球体型テントを5張設置している。

沼津市戸田造船郷土資料博物館

安政元年(1854年)田子の浦沖に沈没したロシア軍艦ディアナ号プチャーチン提督の遺品や代船ヘダ号建造の記録、松江古墳出土品などを見ることができる。併設されている深海生物館には、駿河湾に生息する深海魚の標本が多数展示されている。

御浜岬

腕のように湾曲した形が特徴的な岬。駿河湾越しの富士山の絶景も眺めることができる。岬は見事な松が生い茂る美しい公園となっており、内側は波穏やかな美しい砂浜で、夏には大勢の海水浴客でにぎわう。また、スカシユリ・ハマユウ・ツワブキの群生地でもある。

出逢い岬

県道沼津土肥線沿いにある展望スポット。戸田湾とそれをゆるやかに包む御浜岬、雄大な駿河湾、霊峰富士、そのすべてを一望できる。

道の駅「くるら戸田」

沼津市初の道の駅として、平成27年4月1日にオープン。
軽食コーナーや物産販売コーナーのほか、戸田の観光スポット紹介、珍しい深海魚の展示、源泉かけ流しの天然温泉「壺の湯」や足湯などを楽しむことができる。

はかま滝

末広がりで袴のような形をしている「はかま滝」。その周辺には、美しい景観が楽しめる展望デッキや遊歩道、親水広場を整備した「せせらぎ公園」がある。豊かな自然を生かした公園内に設置されたキャンプ場は、自然を満喫できる、リピーター客も多い人気スポット。

煌めきの丘

太陽の位置によって海面がきらめいて見えるため、この名がつけられた。正面に富士山を望み、紺碧の駿河湾を挟んで、明神池や井田地区を一望できる。

夕映えの丘

海に沈んでゆく夕日が特に美しく見えるビュースポット。戸田港内を航行する船、御浜岬、そして遥か駿河湾を往来する船のゆるやかな動きが、日々の喧騒を忘れさせてくれる。

沼津内浦漁協直営 いけすや

内浦漁協が日本一の生産出荷量を誇る養殖マアジを、地元の味で調理、提供する食堂。地産地消や地域活性化の思いから創業に至り、新鮮な海の幸を求めて多くの観光客が訪れている。

資料：観光戦略課、文化振興課、緑地公園課